

## 歌手 森 昌子 さん

親子の会話をとても大切にされており、活動を再開した今でも、仕事はなるべく午後に入れ、午前中は家事にあてているとのこと。2006年10月より全国ツアーのスタート、2007年4月からのNHK連続テレビ小説「どんど晴れ」に出演も決まった森昌子さんに近況を伺った。  
(聞き手・構成：一色 由香)

仕事の再開には不安がありました。でも、子供達が「また歌ったらいい、やりたいことをやればいいよ」と応援してくれたので、決心がつきました。

—森さんにはお子さんがいらっしゃいますが、普段接する際、どのようなことに気をつけていますか。

子供は3人いて、全員男の子です。一番下の子はまだ中学1年生なので、私が毎朝6時に起きてお弁当を作っています。このような生活は、主婦になってからずっと変わっていません。今年から約20年ぶりに仕事を再開しましたが、仕事のスケジュールはなるべく午後に入れるようにして、午前中は家事の時間にあてています。

—仕事を再開した今でも、家族のための時間を大事にしているんですね。

母親ですから、子供のことはいつも気にかけています。どんなに忙しい時でも、母親としての本能的な気持ちとして、「自分の作ったものを子供に食べさせたい」という思いがあります。いつも手の込んだ食事である必要はなくて、たとえおにぎり1個でも作ってメッセージを添えて置いておくことで、ああ、母親が作ってくれたんだと子供が思ってくれれば…そういう形で、いつも私が見守っているよというメッセージを子供に伝えていきたいと思っています。



最近、親に対する少年犯罪が多い気がしますが、普段から子供とのコミュニケーションを大切にして、真剣に向き合っていれば、ちょっとした子供の変化に気づけると思うんです。そうすれば、子供が何を考えているのかわからない、ということにはなりにくいのではないかなと思います。

我が家では親子の会話がとても多くて、小さい頃から親と何でも話せるようにしてきたので、大きくなった今でも子供は全く照れることなく、いろんなことを話してくれます。仕事で忙しい人がとても多い世の中ですが、家族と会話する時間、家族と過ごすための休暇はとても大事だと思います。

—主婦として生活をされていた間、「芸能人であった」ことの影響はありましたか。

もちろん、ありました。「森昌子」ということで、買

い物をするときも何を買っているかなど見られていましたし。子供も、「あの子は森昌子の子供だよ」と言われることが多かったです。でも、特に芸能人の友人と交流をすることも多くなかったですし、主婦業、母親業をこなすことで忙しくしていました。

子供は、なぜ自分達が注目を集めるのか疑問に思っていました。私が芸能人だったことをきちんと説明したら納得してくれました。でも、テレビの「懐メロ」番組などは子供には見せなかったです。やっぱり昔の自分を見せるのが恥ずかしかったのです。

—仕事を再開されたきっかけは何でしたか。

私自身、仕事を再開するかどうかはとても悩みました。主婦に専念していた間は、歌に触れる機会は、ほとんどありませんでしたので、不安はありました。

でも、子供達が、「また歌ったらいい、やりたいことをやればいいよ」と応援してくれたので、それで仕事を再開する決心ができました。

—引退前は、演歌を歌われることが多かったと思いますが、新曲の「バラ色の未来」は歌詞が柔らかくて、曲調も明るいですね。

「バラ色の未来」は、とても素直な内容の歌詞なので、以前歌っていた演歌よりも自分らしさを出せていると思います。

以前の歌は、実体験に基づいていない歌詞が多かったので、自分でこういう心境かなと想像しながら歌っていた部分がありましたが、「バラ色の未来」は私の自然な気持ちがとても出ているので歌いやすいです。今は、自分を実際よりもよく見せたいという願望はなく、ただ自分に正直でありたい、自然体でいたいという気持ちが強いので、そういう意味で肩ひじ張らずに歌えるこの歌が好きです。

また、特に同年代の女性で、「自分も同じ状況なので力づけられました」と言ってくれる方が多いですよ。この歌を歌うことで、失恋などの辛い経験をした人に、「もう一回頑張ることができるとだよ」というメッセージを伝えていきたいです。

—森さんは、歌っているときに涙を流すことが多いような気がします。どうして涙が出てくるのですか。

私は基本的に泣き虫なんです。特に、感動したり嬉しいことがあると泣いてしまいます。お客さまが自分のために来てくれて、自分の歌を聴いてくれて、感動してくれて、拍手をくれる。そういうことの一つ一つが嬉しくて、感謝の気持ちでいっぱいになって泣いてしまうんです。

私は人と接するとき、いつも愛情を根底にもって相手を理解したいと思っています。そのためか、お客さまが私の歌で感動してくれることに私も強く感動してしまうのかもしれませんが、人と接するときの心構えは、今後も自分の中で大切にしていきたいです。

—弁護士に対して、こうあって欲しいという希望はありますか。

世の中には、裕福な人とそうでない人、高齢の人、若い人、色々な人がいますが、皆何らかの悩みを抱えているという点では一緒だと思います。弁護士の方々には、法律相談を受けるときは、親身になって悩みをしっかりと聞いてあげて欲しいと思います。弁護士に相談に来る人は、弁護士との相談の時間に全てをかけているのだと思いますので、愛情を持って接してあげて欲しいです。

—今後は、どのような歌を歌っていきたくて思っていますか。

今は、一日一日を大事に過ごすようにしています。森昌子の歌を聴くとほっとする、癒されるといわれるような歌を歌っていきたくて思っています。

#### プロフィール もり・まさこ

栃木県出身。1972年6月「せんせい」で歌手デビュー。テレビ、映画等でも活躍。結婚を機に1986年歌手を引退。2006年6月、20年ぶりの新曲「バラ色の未来」で歌手活動再開。2007年4月からはNHK朝の連続テレビ小説「どんど晴れ」に出演が決まっている。